

せんだん保育園 第三者評価調査報告書 【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	設立当初策定した理念・基本方針を、10年目を迎える際に外部の知見者の協力を得ながら職員8名で検討し策定したのが現在の理念・基本方針である。これを明文化し入園のしおり、ホームページにも記載して周知に努めている。 特に今年度は、さらにひとつ上の取組を目指しているため、職員間での確認、評価見直しをきめ細かく行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	少子化の傾向は進行する傾向にあるという事実を目を据えて、現状の維持には何が必要かを検討し、従来育ててきたビジョンに追加するチャレンジングな手法を今年度から追加した。現況を見ると、細目イについては検討する意味がなくなった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	どんどん進む少子化に対応できる職員の資質の向上、魅力作りの為に職員個人個人の成長度をチェックし、全体としてはグループ力の上昇が必携としてきたことにプラスして、さらなる魅力を子ども達や保護者に提供する事を全職員と話し合いチャレンジする必要性を確認した。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	急激に進行する子どもの人口減にも拘らず保育所の新設が無造作に行われ、保育士不足が進行する対応施策が無い中では、組織内での充実、そのことが子ども達や保護者に貢献する内容となる様全力で取り組むことを決定した。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	上記の方針決定は、今年度実績を貫徹する中でさらに実力を引き上げる内容に変化し、この質問項目もいずれ修正されなくてはならないものと考え。既に新しい実践が各グループ保育に見られる様になってきている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順のもとについて把握されている。
	グループ評価が原点となっている中で、まずはそこを超える方策を見えるか化する手法で進行して行くので、評価は常にしながら、専門性のある資格を獲得すると一定の支払を得ることが出来、新しい成果を出せる新手法をどんどん生まれさせて行く事に繋がり、グループのチーム力の引き上げが可能になってきている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順のもとについて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果のもとについて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。

7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	今年度はこのチャレンジに取り組む初年度であり、成功して保護者に喜んでいただけるものを目標にしているの目下はいちいち説明していない。保護者役員会には年間行事計画は説明している。		<input type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	職員の質の向上、それも専門性があるような職員、そういう職員が集まるグループは、子どもにとっても保護者にとっても魅力的であるが、点検を怠らず、不適切な保育が生まれようがない保育園を目指している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづく保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	職員間で課題の共有化が図られている。
	今年度末の結果がどの様に把握できるか、見える化や専門性のある資格取得の幅も各グループ力を付けるベースとしてさらに進行することを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	3月及び4月の職員会議では、園長のスピーチで年度纏めと労苦のお礼新年度スタートの基本的なお願いが必ず行われていて、ポイントをきっちりと指示している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	施設長は永年滋賀県私立保育園連盟の理事長を務め、昨年3月に退任したことから、自園の仕事に一層打ち込めるようになり、滋賀県庁、各市町の行政との関係作りや法令関係等についてもとびぬけた力を発揮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	キャリアパスとグループ単位の評価の難しさの中で、新しいチャレンジに入り、実績が具体的に上がってきている。今年度の成果が上がれば、次年度のポイントを選択する方も出てくるでしょう。園長の原点を抑えたこのチャレンジは、素晴らしい指導力を発揮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	職員会議議事録を見ると毎月初めの1行に、メッセージが出ている。それは必ず基本ベースの実行を目指すもので、仕上がってゆく経過を示すものとなっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	福祉人材については、毎年数名可能な範囲で雇用に努めている。次年度も6月に2名採用を決定している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	本園では職員一人ひとりという受け止めではなく、力を合わせたグループ力が求められている。チーム・マネジメント・マニュアルを2年間一生懸命に推進してきたが、ここでテストケースとして、チーム力そのものの力を引き上げる事、それには専門性のある資格入手することで保育力が広がり喜ばれる活動が可能となる。既に3件の資格所有者が生まれてきているとの事、一方色々な目標が建てられたが件数を具体的に示す「必ず見える化」も出たしたので、キャリアパスとビジョンが合体する日が近づいた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	職員のワーク・アンド・ライフに配慮した就業ルールが確立されている。園全体で毎日5~6名の保育士が休みを取っても1クラス4~5名の保育士が常勤出来る体制がとられていて、育休・リフレッシュ休暇は100%、年休は80%など取得している。保育士の安定的確保と成長を目指した職場環境づくりが図られている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映・実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	本園では一人ひとりの目標を設定するのではなくチーム・クラス別・担当別として目標設定し取り組んでいる。外部の力の協力を得て2年の歳月をかけた当園独自の「キャリアパス」として完成されている。この制度は、保育の目標項目を数値化し、個々の職員や職務チームの単位で上位者との面談で保育の向上を目指した目標が明確化されている。		<input type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。
	音体教育(和太鼓・体育指導)を柱とした教育を実践するため、各種スキルアップ・マネジメント研修が行われている。1年前期・後期に分けてそれぞれ独自の園内研修が計画され、参加は義務付けられている。さらに、県・大津市、各福祉協議会の団体が主宰する園外研修への参加も推奨している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	社会福祉せんだん二葉会として、年間を通じた園内研修を前期・後期に分けて計画し、その中でも和太鼓研修は1年を通じて実施されている。後期には、保育交流の一環として他園での研修も行われている。研修参加者は、研修記録として研修内容・参加職種等の研修報告書をまとめるよう義務付けられている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input type="checkbox"/>	ア	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	コロナ禍の期間中は困難であったが、保育実習マニュアルは整備されていて、現在勤務する職員の多くが、入職前の当園での保育実習経験者である。ヒヤリングでは、保育実習の経験から当園の保育と職場環境の良さを実感したという感想が聞けた。入職希望者を増やすという保育実習本来の目的達成に向けても貢献している。		<input type="checkbox"/>	ウ	専門職職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ	指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	保育内容に関する全体計画は、施設長から①保育課程(理念・方針・目標・事業)、②養護にかかわるねらいとして示されている。また、4月と8月に実施される保護者会役員会では、半期ごとの行事や収支決算報告も開示されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	園の運営方針に関しては、年度ごとに「事業計画」「事業報告」「決算報告書」としてまとめられており、特に前者の2項目のところでは就業規則、年間行事予定、今後の方向性が明示されている。さらに、特定個人情報取扱い・苦情処理規定が盛り込まれて保護者への当園に対する運営の安全・透明性も担保されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input type="checkbox"/>	オ	外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	コロナ禍の影響で地域との交流は限定的に「おじいちゃんおばあちゃんをお迎えする会」を実施するにとどまっている。今後は、園庭や近くの公園で遊ぶ機会を増やし、親子で地域と交流を深める機会が増えることを期待したい。		<input type="checkbox"/>	ウ	子どもの個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	ボランティアは、毎年小学・中学・高校・大学生を対象に受け入れられている。受け入れマニュアルには、保育士としての視点から接する規定14項目が網羅され、子どもたちの安全・安心の確保を第一にした対応で行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input type="checkbox"/>	ア	当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	当園独自の研修としては、他園で実施する保育の交流のほかに、各種園内研修として外部からの講師を招くなど外部機関との交流に努めている。さらに各種スキルアップ・マネジメント研修には、県・大津市・各福祉団体・日本生産性本部が主宰する園外研修への参加も奨励している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
地域貢献の一つとして、当園の施設設計(鉄骨2階)や、広いスペース(体育・和太鼓指導で使う舞台や客席を有している点、さらに広い園庭)を活用できると判断し、大津市に申請し災害時の福祉避難所として指定を受けている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
未入園の子どもや保護者への保育サービスの一環として、一時預かり保育や親と子の未来塾(月1回集いの広場で開催)を行っている。また子ども達が地域のお年寄りやと接し交流する機会として「おじいちゃんおばあちゃんを迎える会」も9月に開催している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業(ことまらぬ)地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)			
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。			
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。			
子どもたちの成長過程で身に付けていくべき生活習慣や、自立支援し大きく羽ばたいていくための遊びと学習プログラムを、曜日別に午前・午後に分けて多種多様な内容が計画運営されている。また幼児クラスは音楽教育を中心に発達支援が必要な子どもも加わってクラス全員が一体となって自信を植え付ける取り組みを行っている。特定一人ひとり異なる子ども達の個人情報取扱規定も策定し、それぞれの人権確保をモットーに発達支援に頑張っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。			
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。			
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。			
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)			
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)			
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)			
			29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
			判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
入園時に保護者に対して個人情報取扱の規定を明示し、子どもたちの写真・動画・SNS等に関する情報の取扱いについては、必ず保護者には事前に同意を得よう配慮している。また園長並びに事務担当職員が保護者や地域からの意見・要望の担当窓口になっており、苦情処理規定に沿って真摯に対応するよう努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。			
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。			
			<input type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。			
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。			
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。			
		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)			
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。			
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。			
HPは、園の基本理念や大切にしていること・一時保育・子育て支援についてわかりやすい言葉や写真で表示している。音楽教育に取り組んでいる特性も紹介している。一時預かりや未来塾への参加者は地域の人が多く、事前に保育園の雰囲気や保育者の丁寧な保育に接して、ぜんぜん保育園を選択するケースも多い。見学希望者も多く、すべて園長が対応している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。			
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。			
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。			

31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	保護者へは、モバイルメールで連絡ができる体制をとっている。各クラスでの情報提供や連絡等にも活用している。コロナやインフルエンザなどの感染症発生時の対応や運動会の天候時の対応等にも対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	保護者の転勤等で変更するケースは、一年間に数件ある。引き継ぎ手続き等は的確に実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	運動会や学習発表会等の行事の後には、保護者へのアンケートを実施し保護者満足度を把握するように努めている。入園式や遠足等の行事についても、写真や気づき等を記入したノートを作成し職員がいつでも振り返られるようにしている。個別懇談会や保育参観など様々な行事を通して保護者との声を聞くことができる場も設定している。コロナ禍で学習発表会は、クラス単位で実施する様になり、保護者から『落ち着いた子どもをじっくり見れる』等の声も多く今年度もクラス単位で実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	エ	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情処理マニュアルや苦情処理簿は、きちんと設置してあり体制はできている。意見箱も玄関に設置している。保護者からの苦情があった場合には、しっかり受け止め改善できるところは寄り添えるように対応している。地域の方からの苦情に対しても誠意を持って対応している。今後、苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物を、保護者の目にとまる玄関等に掲示していただきたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	保護者の相談が生じた場合には、子育て相談室を利用してしっかり向き合うことができるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	日々の保育・行事等保護者の意向は常に配慮している。毎日の送迎時の保護者とのコミュニケーションを大切にしよう心がけている。お迎え時には、子どものエピソードや頑張ったことなど、保護者へ丁寧に誠意を持って対応している。保護者アンケートのコメントの中でも、担任の保育者に悩みを聞いてもらいとても信頼できているという声も多数あった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	<input type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	ヒヤリハット報告・事故報告書を収集し、分析している。発生マニュアルを記入し要因を探りスタッフ間でも共有し、事故防止に努めている。安全チェックを2週間に一回行ない、子どもたちが安全に、快適に遊べるよう定期的に見直しが継続できている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。

38	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	コロナ・インフルエンザについて予防・発生予防マニュアル記録し、評価を行っている。責任者・担当職員間で共有し保護者にも伝達している。訪問調査日では5歳児で半数の16名がインフルエンザにかかり、欠席となっていた。他の子どもの保護者にも伝えられ、症状があれば直ぐに受診するなど早期の対応が図られている。コロナ感染についても注意して観察を行い、異常時は受診を早期に行ってもらい、他感染の予防にも努められている		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決まっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	避難訓練を月1回実施し、日頃より地域の関連機関との連携を深めて協力的体制づくりを行っている。災害時の職員体制・避難先・避難方法、そのルートの確認もしている。安否確認について自治体と連携して保護者への連絡、家族への引継ぎへの方策を確認し、全職員に周知している。食料備品の備蓄を定期的にチェックしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まり、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	保育の内容に関する全体的な計画は毎年度施設長が作成している。保育課程として理念・方針・目標・事業の内容を盛り込み、さらに養護にかかわるねらいとしては、①生命の保持、②情緒の安定の2つの領域で指針を示している。特に②では健康・人間関係・環境・表現の分野を0歳児から6歳児までを月齢・年齢で7つに区分けして、「心情」「意欲」「態度」の側面から目標を立てている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもついて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
	創業当初より子どもたちを預ける施設は大幅に増えていて、大津市内では平成10年より子どもを預ける施設は保護者側の選択制に移行した。そうした状況に対応すべく当園も保育の質向上に向けチーム力向上のため見直しをしつつ前進している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	指導計画については、各保育士が児童票等の資料や保護者との面談に基づいて個々の子どもに対応したものを作成している。さらにクラス単位では「目標管理シート」を作成し、人事面では職位制度に基づき「成長シート」が策定されていて、施設長が管理しこれらの指導計画のもとで保育園のチーム力向上を目指している。また気になる子どもの保育では、支援が必要な子どももクラスの他の子どもたちと一緒に同じ保育学習サービスを受けさせるなど独自の手法で力を入れている。クラス仲間としてはそれぞれの得意技を活かし、チーム力向上に向けて、計画したポイントの、PDCAをつねにおこないより良い結果に到達する様前進している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	全体的な計画にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的な指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	日々の保育実践の見直しは、月別に目標項目の達成度を数値で示し、クラス・関係職員ごとにその達成度をみえる化している。クラス毎に作成した内容についてはPDCAを回し、夫々が保育の質向上に向けて前進している。		<input type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分でない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	本園では、保育内容や子育て支援に関しては保護者と信頼関係を築き上げており、その情報開示には、保護者からのアンケート調査からも理解できるように、職員間の共有をベースにさらに好ましい方式に変化して行くことを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	文書管理規定を作成し保存期限を明確にし、情報提供を求められた際には、速やかに保護者に説明報告が出来る様準備している。個人情報保護規定に基づき適切な対応が出来る様努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

せんだん保育園 調査結果報告書

【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	従来の全体的な計画・ビジョンを今年度はさらに引き上げようとするチャレンジングな内容となっていて、今まで以上に実績評価がしやすくなっている。職員一人ひとりにとっても、また参加しているグループの成果にとっても良い結果となる様見える化して行こうとするもので、期待大と言える。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	玄関に大気汚染の目安になる数値を表示している。数値が高い日には、園庭遊びや散歩は、できない旨を表示している。園庭には、遮光ネットを設け過度の日焼け防止に努めている。各クラスの廊下に手洗い場があり子ども達は手洗い・うがいを自主的にしている。トイレは、清潔に保たれている。寝具は、週末に持ち帰り月曜日に持参する。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	年齢に応じた玩具を置き、自分で選んだ遊びをしている。季節感のある部屋の飾りつけがされていて、1歳児のクラスでは、節分にちなんだ鬼の面等から季節感が感じられた。個別計画には、個々の保育計画が詳細に書いてあり、一人ひとりの子どもについても気持ちを受け止め、ゆっくりと話を聞き、穏やかに接している様子が伺えた。気になる子どもについては、寄り添って聞き取ろうとする丁寧な支援を見る場面が多くあった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	保育者は、身体を動かした後の水分補給、トイレや手洗い等の声掛けをきちんと指示し子ども達も自主的にできている。今年度から乳児組では、クラスの半数ずつに分けて給食を食べることにし、保育者が一人ひとりにゆとりをもって食事の見守りや援助ができるようになった。年齢に合わせて、保育者の話をしっかり椅子に座って聞ける習慣も、身につけるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	日々の保育活動では、歳時記・風習・伝統的な行事に注目して、様々な活動を取り入れている。月2回の体育指導・月1回の和太鼓指導や英語遊びなど専門の外部講師を招いて活動を展開している。教室での自由時間は、子どもたちが自分のやりたいことを選ぶように多様な玩具やお絵描きセット等を用意している。3歳児教室では、友だち同士でおもちゃの取り合いの場面も見られたが、保育者が一人ひとりに優しく納得いくように対応し、時間で交換する方法を提案し仲良く遊んでいた。掲示物もそれぞれの年齢に応じた内容になっており、0歳児の保護者から『掲示物がパワフルで見るのが楽しい』という声もあった。4歳児教室では、チクチクハート(嫌な思いをする言葉)ふあふあハート(優しく嬉しい言葉)を明記し、友だちへの思いやりの大切さを大事にするようにしている。どのクラスも生活発表会に向けて、子どもたちと保育者が真剣にステージで何回も練習している光景も見られた。年長組の太鼓練習では保育者の指導のもと、見事なバチさばきで取り組んでいた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

6	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	0歳児は、2つに区切りコーナー保育となっている。小さい組は、座って好きなおもちゃをさがし、持って遊んでいる。大きい組は、立って歩いて回りおもちゃを探し、積み木をしたり、滑り台のところで立ったりしておもちゃを動かして思いっきり遊んでいる。11時から昼食でテーブルに座り、一人用のベビーチェアで食べている。中には保育者の支援を得て全量完食できている。離乳食も個別に計画を立てて、実施できている。看護師を配置し、日々の健康管理を行い、保育士と共有でき連携が取れている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	1歳児は、登園時は0歳児の部屋で迎えられ、後は隣の部屋へ移動する。新聞をちぎり放ったりして、雪のようにして投げたり、走り回ったりして思いっきり遊んでいる。又ぐるぐる巻きにして、刀みたいに持ち歩く子どもやチラシで、ヘアバンドを作ってもらいはめて楽しんでいる子どももいる。最後は壁に貼ってある鬼に向かい袋に詰めて「鬼は外ー福は内ー」と一緒になり、思いっきり投げて追い払って遊んでいる。11時半より昼食となる。テーブルも2班に別れて食べている。アレルギー(卵)の子どもが1名いて、テーブルを少し離し食べている。保育士も注意して観察し間違えて食べる事のないように共有できている		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	4・5歳児が取り組んでいる和太鼓は、身体を使いながらリズムカルな動きも必要になり、エネルギーの発散にもつながっている。その他、我慢や集中・協調性などが培われ集団の中で自分の力を発揮できる場となっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学前の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	気になる子どもの支援には力を入れている。大津市が認定し、親の同意を得た子どもは、7名在園している。やまびこ療育センターには、家庭相談員・発達相談員・理学療法士・作業療法士等の専門職が在籍し年2回園を訪問し、その子どもに最適な取り組みをしている。気になる子どもも、保育士のサポートを受けながら、クラスの他の子ども達と一緒に特別の対応ではなく同じように仲良く共通の活動が出来る様支援している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	登園時の保護者から職員への子どもの状況伝達と在園時間内の出来事は、連絡ボードの中の連絡項目に記入されており、降園時の保護者へ引継ぎが必要な場合には確認できるようになっている。また18時以降の延長保育の担任は、昼間の連絡ボードに書かれた内容を夕刻台帳に必要事項を転記することで、職員の引継ぎ事項の共有がなされている。延長保育を依頼した保護者もこの台帳の記録を確認できる。なお連絡事項を記入した職員の名前が明示されていたら、職員間の情報共有も確実なものになるので今後はその点を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	小学校で期待する力を確認し、子どもたち一人ひとりの特徴・配慮点などを細かく小学校側へ連絡することに努めている。職員と先生との交流も定期的に行われていて、5・5交流では卒園した子どもたちの成長する姿を共に育む姿勢で臨んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども達の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。

A-1-(3) 健康管理		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	部屋の環境をチェックし、コーナーで区切り睡眠時は静かな場所で0歳児はSIDSに注意して5分毎のチェックをし、ルクミー(500円硬貨と同じほどの大きさの装置)を胸につけて下向きに寝た場合はアラームが担当保育士のタブレットに送信され、すぐに現場に行けるうえ、5分毎のチェックを実施したあと右・上・左方向に寝ている方向性を赤字で記したタブレットの指示を睡眠チェック表に記入している。0歳児1歳児の保護者には、乳幼児突然死症候群については十分説明し園側の対応を説明すると共に、特に入園後の6か月間は家庭でも充分注意をする様周知している。保護者アンケートの全体ではなく0・1歳児のアンケート結果では理解していることが示されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの保健に関する計画を作成している。
	変化があれば個別指導計画を基にチェックし、ライン等でも保護者に伝え、降園時も細かく口頭でも伝えたり、連絡帳でも気づきなどについても伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	内科・歯科検診も定期健診は年2回行い結果は記録し、保健計画にも反映させて関係職員にも周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	定期的に受診し医師の指示を確認し、それに添い計画を見直している。マニュアルもあり職員が疾患について理解が深められるような説明を行い看護師・保育士とも連携が図れている。緊急時はすぐに保護者とも連絡がとれるように体制をとっている。アレルギーの子どもには、席を皆から距離を離して保育者も注意し見守っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	献立は、行事食を取り入れたり季節感が感じられる食材を使用し、年齢に応じた切り方や大きさになるよう考慮している。家庭的で見た目にも美味しさが伝わってくる手作り給食は、子ども達も毎日の楽しみとなっている。玄関には、今日の給食・おやつ・離乳食の写真のほかに今日のポイントもひと言添えて掲示し、お迎えに来た保護者と子どもとの会話のきっかけにもなっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
	乳児組は保育者が教室で手際よく仕切り皿に盛り付け、子ども達に寄り添いながら見守りや補助をしている。年長組はしっかり食べてほしい分量を給食室で一人分ずつ配食し、残りはお代わりできる様になっている。3歳児教室では『おはしで自分で完食』という今年の目標に向かって、子ども達は、箸を上手に使いこなしていた。幼児組は、外部講師からバナナの食べ比べや、魚の話などを聞いたり触ったりと体験する『味の教室』にも参加し食への関心を高めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	日々、チームワークを大切に衛生管理に配慮しながら作業している。帳簿類は、きちんと整理・記載している。食事に関するアンケートを実施し、給食に関する感想や子ども達の家での食事の様子なども把握している。給食への保護者の満足度はかなり高評価になっている。幼児組では、クラスの栄養ボードを掲示し、食べ物の栄養がわかるような取り組みもしている。機会をみて栄養士が各クラスを回って、冬至のかぼちゃや七草粥のお話などをしたり、筍の季節には、実物の大きな筍を見せたりと食教育に積極的に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	送迎時、面談等緊密な連携をとっている。延長保育の子どもには、伝言できる体制ができています。担任でなくても子どもの名前や欠席の情報共有をしているため、廊下ですれ違った他のクラスの保護者に『元氣になりました?』と声がけしている場面もあった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
	年2回の個人面談(2回目は希望制)家庭訪問(在園中に一度)を行い、保護者との相談にも応じている。個人面談表を作成しており、保護者の園への要望や質問等も記録し、日々の保育活動に生かしている。玄関には、『きょうのできごと』の掲示板を設置し、各クラスの一日の様子をコンパクトにまとめて記載している。お迎え時には、担任が保護者一人ひとりに一日の様子やエピソードなどを丁寧な対応で伝え、信頼関係を築くようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	虐待対応マニュアルに基づく職員研修を実施し、保育者は子どもの早期発見に努めている。以前数件の事例もあった。保護者との毎日の情報交換を大事にし、毎日実施している瞑想の時間や着替え等の際には身体の異変に気をつけて観察し兆候を見逃さないよう注意を払っている。必要時にはいつでも関係機関である『こども家庭相談室や児童相談所』等と連携をとり、対応できる体制ができています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い保育実践の改善や専門性の向上に努めている	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り自己評価を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組み過程に配慮している。
	毎年、自己評価・上司評価を行い、質の向上に努めている。クラスではチーフを中心に職員間の連携を重視しクラスで掲げた『数値目標管理シート』を作成しチームの目標となるような体制作りをしている。保育者の中にも食育インストラクター・児童発達支援士・ベビーマッサージ等の資格のある専門保育者の育成にも力を入れている。職員の成長シートがあり、自分の振り返りや目標の確認もできている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。